

一般質問から

平成24年第4回定例会の一般質問は、12月17日、18日、19日の3日間にわたり、13人の議員が41項目の質問事項について、市の見解を求めました。ここでは、各議員の主な質問と、それに対する市の見解を紹介いたします。

なお、詳しくは、2月下旬に更新予定のホームページをご覧ください。

*議員名の上の番号は、議席番号を示しています。



今後の八潮市政の運営について

Q 多田市長の任期も一年を切ったが、来年度以降も市政を担うことを期待したいが考えを。

A 三期目の立候補に際し、品格と活力のあるまち八潮を目指す市民の皆様と約束した各種事業等、九割以上は、すでに達成できたと考えている。また、市長就任以来、本市悲願の鉄道「つくばエクスプレス」の開業や「国民体育大会彩の国まごころ国体」の開催、新消防庁舎の建設、小中一貫教育の推進、さらに、都市基盤の整備、景観、環境、防災や福祉施

22番 柳澤 功一

策についても着実な成果が見えるとともに、「自治基本条例」や「みんなのできる美しいまちづくり条例」の制定などにより、五十年、百年後にも誇ることができる本市のまちづくりの道筋を作ることができ、私に与えられた役割は全うしたと思っっている。今後については、本市のより一層の発展のため、新たな発想、新たな視点で街づくりを進めることが重要であり、しっかりと将来を見据えることのできる、新市長に期待したいと考えている。

投票率向上対策について

Q 平成9年に投票率を上げるために投票立会人に新人を採用しては、と提案しました。その後の推移や募集の仕方について

A 20歳代の投票立会人は最近は一桁台です。今は選挙の予定される年の1月に募集、締切りとされていますが、次回から選挙毎の3カ月前から募集します。なお、終了後には、アンケートを取って感想を聞き、若者に選挙に関心を持ってもらうよう取組みます。

19番 森下 純三



小・中学校における樹木の管理について

Q ここ数年、市内の小・中学校にある樹木(高木)が数多く伐採されています。高木が伐採され見通しが良くなったとの声がある一方で、貴重な緑が失われているとの声をお聞きします。そこで下記の3点について伺います。①平成23年度、平成24年度、それぞれ伐採をした樹木の本数について②伐採をする理由について③平成25年度に伐採を予定している樹木の本数について

2番 朝田 和宏

小1本、八潮中4本、大原中10本、計42本。平成24年度、八潮小18本、八幡小4本、松之木小5本、大瀬小3本、大原小3本、八潮中4本、合計37本。②台風などの強風により倒木したもの、や傾いて倒木の恐れがあるもの、また枯れて倒木の恐れのあるものを伐採③潮止小3本、大曾根小10本、松之木小3本、大瀬小1本、合計17本の伐採を予定。



A 平成23年度、八潮小8本、潮止小5本、大曾根小3本、中川小1本、大瀬小10本、大原

税の延滞金の減免制度について

Q 昨今の厳しい経済状況の下で、税の延滞金にかかる利息が年率14・6%と高いため、税の支払いに苦しんでいる納税者の切実な声が上がっています。税の延滞金の減免制度を草加市のように設けられないか伺います。

9番 池谷 和代

A 地方税法では天災や疾病、事業の休止・廃止の理由で徴収猶予が適用されている場合など減免が認められています。八潮市税条例施行規則では、天災や火災により業務上必要な設備が滅失した場合や納税者が納税通知書の送達を全く知りえない

かつた場合などは、延滞金を減免することとしています。延滞金の減免をするに当たっては、その財産状況を把握した上で判断することが必要であり滞納処分できる財産がない場合や、生活困窮と認められる場合などは、地方税法により本税のみならず延滞金も滞納処分の執行停止をすることになります。今後も滞納処分の執行停止を適用できるかについて適切に判断していくことが重要であると考えますので、新たな延滞金の減免制度を設けることは考えていません。

介護支援ボランティア制度について

Q 第5期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画で実施検討されている「介護支援ボランティア制度」の検討状況は?

11番 岡部 一正

が社会参加や地域に貢献できる多様な取り組みの中から、本市の実情にあった介護支援ボランティア制度の実施について、関係機関等と検討してまいります。

A 埼玉県が平成24年2月に同制度を実施している状況をまとめたところによると、県内では11の自治体の実施をしており、さいたま市、越谷市、吉川市、和光市等から情報収集を行ったところです。

今後、収集した情報を元に本市が導入した場合における課題等を抽出し、社会福祉協議会等と協議する予定。高齢者の方々

